2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月6日

上場会社名　　アイエーグループ 株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7509　　ＵＲＬ　https://www.ia-group.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）古川　隆太郎
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　経理財務部長　（氏名）渡邊　康弘　　ＴＥＬ　045-821-7500

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　2026年12月4日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	17,895	△4.3	266	△29.1	301	△27.9	153	△43.5
2026年３月期中間期	18,695	9.9	376	8.6	418	3.3	272	15.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　132百万円（△55.3%）　2026年３月期中間期　296百万円（37.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	105.49	―
2026年３月期中間期	187.38	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	28,145	17,110	59.8
2026年３月期	27,857	17,056	60.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　16,830百万円　2026年３月期　16,753百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	75.00	―	75.00	150.00
2027年３月期	―	80.00			
2027年３月期（予想）			―	80.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,400	1.4	1,840	0.6	1,890	△0.7	1,230	△11.1	845.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）、　除外　－社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,645,360株	2026年３月期	1,645,360株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	180,534株	2026年３月期	187,254株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,459,066株	2026年３月期中間期	1,453,139株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料３ページ「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（中間連結貸借対照表に関する注記） …… 8
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 8
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあり、景気は緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、中東情勢を背景とした石油由来製品などの供給は安定的に推移しつつあるものの、国内物価の上昇が続いていることに加え、自然災害の影響等にも注視する必要があることから、国内経済の先行きは不透明な状況が続いております。

そのようななか、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収増益、ブライダル事業および建設不動産事業は減収減益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。売上高はセグメント情報等の外部顧客への売上高を基準としております。

（カー用品事業）

夏季商戦期間の天候不順により季節商品の販売に影響がありましたが、2026年９月に実施された一部タイヤメーカーによる値上げを前に、営業活動を強化しタイヤ需要の取り込みに注力しました。また、供給が不安定であったオイルは、商材の確保に注力したことで堅調に推移をしました。強化部門である車両販売は、中古車取引相場の安定を背景に前年を上回る推移をしました。これらの結果により、前年同期と比べ増収増益となりました。

（ブライダル事業）

当中間連結会計期間の婚礼実施組数が前年同期を下回ったことと、販売費及び一般管理費において主に集客の為の販売費が前年同期を上回ったことにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

（建設不動産事業）

前年同期の不動産部門において複数の物件売却があったことと、建築部門において大型工事案件の工事進捗を基準とした計上があった影響により、前年同期と比べ減収減益となりました。

（その他の事業）

売上高は保有する不動産の賃貸売上となり、販売費及び一般管理費は大きな変動が見られなかったため、前年同期と同等の実績となりました。

（総括）

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は17,895百万円（前年同期比4.3%減）となり、営業利益は266百万円（同29.1%減）、経常利益は301百万円（同27.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は153百万円（同43.5%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は28,145百万円となり、前連結会計年度末と比べ287百万円増加しました。

a.流動資産

流動資産残高は、11,456百万円（前連結会計年度末比208百万円増）となりました。主な増加要因は、棚卸資産の増加（311百万円増）であります。

b.固定資産

固定資産残高は、16,688百万円（前連結会計年度末比79百万円増）となりました。主な増加要因は、建物及び構築物の増加（56百万円増）であります。

c.流動負債

流動負債残高は、6,540百万円（前連結会計年度末比537百万円増）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加（493百万円増）であります。

d.固定負債

固定負債残高は、4,493百万円（前連結会計年度末比303百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（232百万円減）であります。

e.純資産

純資産残高は、17,110百万円（前連結会計年度末比54百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（44百万円増）であります。

自己資本比率は、59.8%となり前連結会計年度末比0.3ポイントの減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は1,166百万円となり、前連結会計年度末と比べ289百万円減少しました。

a.営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金は、減価償却費の計上（330百万円）などにより、23百万円の収入（前年同期は758百万円の収入）となりました。

b.投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出（469百万円）などにより、484百万円の支出（前年同期は456百万円の支出）となりました。

c.財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金は、短期借入金の純増額（500百万円）などにより、171百万円の収入（前年同期は142百万円の収入）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期の連結業績予想につきましては、2026年８月21日の発表から変更しておりません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,455,854	1,166,344
売掛金	1,733,679	1,712,728
棚卸資産	※ 7,465,405	※ 7,777,315
その他	593,411	800,354
流動資産合計	11,248,350	11,456,742
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,030,706	4,087,697
土地	7,158,552	7,158,552
リース資産（純額）	48,547	36,843
建設仮勘定	56,717	65,715
その他（純額）	522,632	610,822
有形固定資産合計	11,817,156	11,959,631
無形固定資産		
電話加入権	9,032	9,032
その他	73,876	58,503
無形固定資産合計	82,908	67,535
投資その他の資産		
投資有価証券	103,884	103,071
長期前払費用	158,712	145,294
差入保証金	2,696,387	2,661,111
繰延税金資産	1,656,343	1,658,533
その他	170,711	170,400
貸倒引当金	△76,917	△76,917
投資その他の資産合計	4,709,123	4,661,495
固定資産合計	16,609,188	16,688,661
資産合計	27,857,538	28,145,404

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,035,977	2,175,362
短期借入金	783,992	1,277,480
リース債務	24,229	21,173
未払法人税等	330,014	259,732
未払消費税等	242,088	89,380
未成工事受入金	221	74,655
賞与引当金	436,859	448,676
役員賞与引当金	11,500	－
その他	2,139,039	2,194,517
流動負債合計	6,003,922	6,540,978
固定負債		
長期借入金	2,352,564	2,120,336
リース債務	27,517	18,513
繰延税金負債	7,138	7,138
役員退職慰労引当金	512,014	445,818
退職給付に係る負債	558,577	560,994
資産除去債務	974,385	978,051
長期預り保証金	364,944	362,923
固定負債合計	4,797,141	4,493,774
負債合計	10,801,063	11,034,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,951	1,832,907
利益剰余金	14,252,930	14,297,494
自己株式	△647,221	△623,997
株主資本合計	16,744,760	16,820,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,281	23,653
退職給付に係る調整累計額	△15,282	△13,739
その他の包括利益累計額合計	8,999	9,914
非支配株主持分	302,715	280,231
純資産合計	17,056,474	17,110,650
負債純資産合計	27,857,538	28,145,404

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	18,695,195	17,895,693
売上原価	10,343,817	9,596,677
売上総利益	8,351,378	8,299,015
販売費及び一般管理費	※ 7,974,820	※ 8,032,162
営業利益	376,557	266,852
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,402	7,381
受取手数料	41,824	42,280
その他	20,853	14,308
営業外収益合計	70,080	63,970
営業外費用		
支払利息	22,024	22,508
その他	6,400	6,822
営業外費用合計	28,425	29,331
経常利益	418,212	301,491
特別利益		
固定資産売却益	3,899	80
事業譲渡益	77,219	－
資産除去債務戻入益	49,357	－
受取保険差益	381	－
特別利益合計	130,856	80
特別損失		
固定資産除却損	229	1,315
訴訟関連損失	1,150	－
その他	5,230	－
特別損失合計	6,609	1,315
税金等調整前中間純利益	542,460	300,256
法人税等	252,704	168,818
中間純利益	289,755	131,438
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	17,462	△22,483
親会社株主に帰属する中間純利益	272,292	153,921

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	289,755	131,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,826	△628
退職給付に係る調整額	1,542	1,542
その他の包括利益合計	6,369	914
中間包括利益	296,125	132,353
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	278,662	154,836
非支配株主に係る中間包括利益	17,462	△22,483

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	542,460	300,256
減価償却費	367,381	363,979
事業譲渡益	△77,219	－
資産除去債務戻入益	△49,357	－
受取保険差益	△381	－
訴訟関連損失	1,150	－
引当金の増減額（△は減少）	56,063	△61,210
受取利息及び受取配当金	△7,402	△7,381
支払利息	22,024	22,508
固定資産売却損益（△は益）	△3,899	△80
固定資産除却損	229	1,315
売上債権の増減額（△は増加）	△25,901	20,950
棚卸資産の増減額（△は増加）	152,751	△311,910
仕入債務の増減額（△は減少）	530,190	139,384
その他	△392,015	△115,675
小計	1,116,075	352,138
利息及び配当金の受取額	3,947	4,904
利息の支払額	△22,471	△23,622
保険金の受取額	1,350	－
訴訟関連損失の支払額	△1,150	－
法人税等の支払額	△390,564	△319,325
法人税等の還付額	51,573	9,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	758,759	23,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△478,577	△469,374
有形固定資産の売却による収入	9,336	226
無形固定資産の取得による支出	△1,679	△2,440
子会社株式の売却による収入	75,154	－
事業譲渡による収入	241,536	－
長期前払費用の取得による支出	△40,043	△17,249
差入保証金の差入による支出	△277,400	△172
差入保証金の回収による収入	15,902	4,765
その他	△799	△247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456,571	△484,493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	240,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△517,795	△238,740
長期借入れによる収入	500,000	－
配当金の支払額	△87,261	△109,042
自己株式の処分による収入	19,119	31,180
その他	△11,674	△12,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	142,389	171,338
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	444,577	△289,509
現金及び現金同等物の期首残高	1,369,452	1,455,854
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 1,814,029	※ 1,166,344

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（中間連結貸借対照表に関する注記）

※　棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
商品	3,310,716千円	3,523,563千円
販売用不動産	4,056,846	4,061,316
未成工事支出金	4,141	87,337
原材料及び貯蔵品	93,700	105,097

（中間連結損益計算書に関する注記）

※　　販売費及び一般管理費の主なもの

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
従業員給与	2,030,390千円	2,044,931千円
賞与引当金繰入額	455,781	420,077
役員退職慰労引当金繰入額	20,675	8,804
退職給付費用	29,099	29,133
賃借料	1,075,046	1,073,495

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
現金及び預金	1,814,029千円	1,166,344千円
預入期間が３か月超の定期預金	―	―
現金及び現金同等物	1,814,029	1,166,344

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,139,016	1,782,074	1,763,438	18,684,529	10,665	18,695,195	－	18,695,195
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,260	1,734	246,626	249,621	703,253	952,874	△952,874	－
計	15,140,276	1,783,808	2,010,065	18,934,151	713,919	19,648,070	△952,874	18,695,195
セグメント利益又は損失（△）	357,380	△190,626	130,529	297,283	83,853	381,137	△4,580	376,557

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経理・総務代行業務等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	カー用品事業	ブライダル事業	建設不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,367,747	1,746,782	775,707	17,890,238	5,454	17,895,693	－	17,895,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,260	1,418	331,633	334,311	706,693	1,041,004	△1,041,004	－
計	15,369,007	1,748,200	1,107,340	18,224,549	712,148	18,936,698	△1,041,004	17,895,693
セグメント利益又は損失（△）	395,816	△277,788	71,297	189,325	85,362	274,687	△7,834	266,852

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経理・総務代行業務等を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失調整額は、セグメント間取引消去であります。

３　セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。